

# 資料 1-3 (別紙 1)

## グループホームに関するアンケート結果

平成30年11月

この度、障がい者自立支援協議会福祉サービス支援部会では、地域で福祉サービス等を利用し、自立した生活をする事が望まれる長久手市内の障がい者がどの程度いるのかを把握し、グループホームが長久手市でどの程度必要であるのかを考えていくため、アンケート調査をさせていただいております。

お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

### 問 1

相談支援事業所が把握をしている5年以内にグループホームでの生活が必要になると思われる方のおよその人数をお答えください。

( 39 ) 名程度

### 問 2

問 1 で答えた人の性別をお答えください。

男性 ( 25 ) 名 女性 ( 14 ) 名

### 問 3

問 1 で答えた人の障がい種別を全てお答えください。

精神障がい(発達障がいを含む) ( 24 ) 名

知的障がい ( 23 ) 名

身体障がい(難病を含む) ( 4 ) 名

※障がい重複している場合は各障がいごとにカウントしてください。

### 問 4

問 1 で答えた人の必要と思われる主な理由をご記入ください。(3つ以上)

- ・家族の高齢化
- ・主治医の意見
- ・独居が困難(障がい特性の為家族と暮らせない)
- ・自立の為(選択の1つとして)
- ・自立度が低く1人での生活が難しい
- ・家族との関係が悪い
- ・病識薄く支援必要
- ・服薬や金銭の管理が自宅では困難、入退院の繰り返しに繋がる
- ・現在の家族の支援では、通常の利用がしづらく衛生面にも課題がある
- ・家よりホームの方が暮らしやすい
- ・親なき後

問5

グループホームの他に、地域で自立した生活を目指す上で必要と思われるサービスがありましたらお答えください。

- ・ 食事に関するサービス
- ・ 通所でも使える移動支援
- ・ 重度の人が入れる所がない（日中サービス支援型居宅介護や入所施設）
- ・ 自立生活援助事業がない
- ・ 宿泊型自立訓練(尾張旭にあるが、近隣にもう一か所あると)
- ・ 軽度対象のグループホーム（世話人付きのシェアハウス）があるといい。
- ・ ショートステイ（知的障がいだけでなく、精神障がいの方の対応もあると、入院までいかに初期対応が可能に。家族の負担軽減にもつながる。）
- ・ 行動援護、移動支援、訪問診療、訪問看護、居宅、通院介助が十分でない。